

様式第1号(第3条関係)

真庭市営単独住宅入居申込書

年 月 日

真庭市長 様

申込者 ㊟

次のとおり市営単独住宅の入居の申込みをします。なお、本書記載内容が事実と相違するとき、又は入居申込者(その同居者を含む。)が暴力団員であることが判明したときは、入居に係る一切の権利を放棄します。また、入居に係る資格について、市が関係機関に照会を行うことに同意します。

希望住宅		住宅	部屋番号		号		
申 込 者	現 住 所	郵便番号		電話番号			
		住宅の種類			名義人氏名		
	フリガナ			男・女	生年月日	年 月 日	
	氏名						
	勤 務 先 又 は 営 業 所	名称			所属	課 係	
所在地							
電話番号				勤務又は営業年数	年 月		
入 居 し よ う と す る 者	続柄	氏名	生年月日	職業	障害・特障・寡婦(夫)等の有無	収入金額(年収)	※所得金額
	申込者本人						

照 合	政令の収入合計				※ 円		
入居しないが 所得税法(昭和40年法律第33号)上扶養 している親族	続 柄	氏 名	生年月日	障害・特 障の有 無	備 考		
現在の住居に居住している期間__年__月 人員__人							
現 住 居 の 状 況	住 居 別	自 宅・借家 の別	部 屋 数	畳 数	水 道	便 所	物 置
	(1)一般住宅 (2)アパート (名称) (3)その他	(1)自 宅 (2)親族の家 (3)借 家			(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない	(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない	(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない
借 家 ア パ ー の 場 合 ト	家主の住所_____家賃 月額_____ 円				氏名_____電話_____ (水道・電気代別途__円)		
市 申 営 込 住 回 宅 数	真 庭 市 営 住 宅	年度	年度	年度	年度	計	回
	他市町村の公営住宅						回
	岡 山 県 営 住 宅						回
住 宅 に 困 っ て い る 事 情	(1) 住宅でない建物に住んでいる。 (2) 保安上危険又は衛生上有害な状態の住宅に住んでいる。 (3) 住宅がないため家族と別居している。他の世帯と同居し生活上不便である。 (4) 住宅が狭くて困っている。不完全な施設の住居に住んでいる。 (5) 立退要求を受けて困っている。 (6) 家賃が高くて困っている。 (7) 遠距離から通勤している。 (8) その他						
	上記の事情を具体的に記入のこと。						

現住居の平面図(間取りの概略を書くこと。)			現住居付近見取図(目標となる所を分かりやすく。)			
婚 約 者 証 明 書	申	住 所		婚	住 所	
	請	氏 名	Ⓜ	約	氏 名	Ⓜ
	者	生年月 日	年 月 日	者	生年月 日	年 月 日
	上記の両名は、 年 月 日に挙式予定であることを証明します。 年 月 日					
	(双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名)					
	住 所			住 所		
	氏 名	Ⓜ		氏 名	Ⓜ	

記 入 上 の 注 意	<p>(1) 現住所は住民票のとおり、電話番号は呼出し、内線番号についても記入のこと。</p> <p>(2) 勤務先は正確な名称をはっきり記入のこと。</p> <p>(3) 入居する世帯員の続柄、氏名、年月日は住民票のとおり、職業は具体的に記入のこと。</p> <p>(4) 収入金額(年収)は、収入がある者全員について、給料、賃金、歳費、年金、恩給、賞与及びこれらの性質を有する給与のすべてを各々の会社、官庁で証明してもらい、その合計額を記入のこと。事業所得は、市町村で証明してもらうこと。ただし、1年に満たないものは、発生後分のみでよい。</p> <p>(5) 現住居の状況は、該当欄を○で囲むこと。</p> <p>(6) 住居に困っている事情は、該当欄を○で囲み、事情を具体的に記入のこと。</p> <p>(7) 現住居の平面図、付近見取図は、明確に記入し、付近見取図に現住居をはっきり図示すること。</p> <p>(8) ※印は、記入しないこと。</p>
----------------------------	---